

愛媛コミュニケーションプライダル専門学校

平成 30 年度 自己評価表

愛媛コミュニケーションブライダル専門学校
平成 30 年度 自己評価

I 学校の教育目標

1. 教育目標

お客様の心まで魅了するプロのサービス技術は、教養に裏づけされた立居振舞から生まれます。技の深さを求めると同時に、学びの広さを提供し、専門を超えた専門教育を行います。

2. 学校訓

- 一、ホスピタリティ精神を持ち 社会に奉仕せよ
- 一、丁寧 迅速 清潔を旨とせよ
- 一、想像力を発揮し 前向きであれ

II 平成 30 年度の重点目標と総括

1. 重点目標

- (1) レストランサービス技能検定(3級技能士)の受検促進
- (2) ブライダルコーディネーター技能検定(3級技能士)の受検促進
- (3) コミュニケーション能力の広範な育成

2. 総括

重点目標(1)(2)に掲げた検定は、それぞれ国家資格、国家検定であり、受検者数を増やす取り組みをした。しかし、必須受検に向けて移行中であったため、(1)の受検率が41%、(2)の受検率は44%だった。高度な学修成果を証するものとして、受検及び合格に向けて、一層の努力をしたい。

重点目標(3)については、接客サービスの職場で必要とされるコミュニケーション力の育成に努め、教職員が一体となって一定の成果を挙げられた。人間の成長には様々な食物から得られる様々な栄養素が必要なように、技能の向上にも幅広い知識や教養が必要であり、学生にもそれを理解してもらおうと努めた。しかし、「専門学校」においても「幅広い教養」の必要性があり、職業実践上そのプライオリティがどれほど高いのか、学生全員に理解にさせられたとはまだまだ言えない。

Ⅲ 評価項目の取組状況・達成状況

1. 教育理念・目標

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
② 学校における職業教育の特色があるか	4
③ 経済社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
⑤ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

(1) 課題

ガイダンスやオープンキャンパス等で直接語ることができた高校生には教育理念等について理解してもらえるようになった。しかし、保護者及び高校進路課に対して、学校の存在意義や業界の求人ニーズを周知できていない。

(2) 改善方策など

学校の様子や、就職状況など、保護者及び高校進路課に配布できる媒体を制作する等、理解促進のためのツールを開発する。

2. 学校運営

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
④ 人事・給与に関する規定等は整備されているか	4
⑤ 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

(1) 課題

運営方針・計画の整備は着実に進んだ。ただし、常勤教職員がそれぞれ複数任務を担っているため、運営組織の整備はやや流動的に推移している部分がある。

(2) 改善方策など

情報システム化等による業務の効率化を図り、限られた人員で効果的なパフォーマンスが発揮できる環境を整える。

3. 教育活動

評価項目	適切…4	ほぼ適切…3
	やや不適切…2	不適切…1
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	
⑤ 関連分野の企業・関連施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	
⑥ 関連分野における実践的な職業教育（産学接続によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか	3	
⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	
⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	
⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3	
⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	2	

(1) 課題

学習や就職に関して、個別にヒアリング・指導を必要とする学生が多く、教員対応の必要性や緊急性が高まっている。

(2) 改善方策など

教員の研修機会を増やし、指導力の向上を図る。また、学生 1 人ひとりの面談結果や状況を、教職員全員で正確に共有するよう努める。

4. 学修成果

評価項目	適切…4	ほぼ適切…3
	やや不適切…2	不適切…1
① 就職率の向上が図られているか		3
② 資格取得率の向上が図られているか		3
③ 退学率の低減が図られているか		3
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか		3
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか		2

(1) 課題

卒業生の転職後の情報収集が困難で、卒業後のキャリア形成等についても、現状把握が希薄である。学校事務と同窓会事務の協力関係について検討の余地はあるが、個人情報保護の観点から容易ではない。

(2) 改善方策など

ホームページ等による学校からの呼び掛け、同窓会関係者による情報のアップデートを継続的に行う。また、同窓会に出席したくなる内容を整える。

5. 学生支援

評価項目	適切…4	ほぼ適切…3
	やや不適切…2	不適切…1
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか		4
② 学生相談に関する体制は整備されているか		4
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか		2
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか		3
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか		2
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか		2

⑦ 保護者と適切に連携しているか	3
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	2
⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
⑩ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア・職業教育の取組が行われているか	3

(1) 課題

学生の学校生活についての配慮、支援体制は機能しているが、学校外での生活全般(健康面や心理面)については行き届いていない。

(2) 改善方策など

学生が相談しやすい窓口を設置し、時期や場合によって非常勤のカウンセリングスタッフを置くなどを検討する。

6. 教育環境

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
③ 防災に対する体制は整備されているか	3

(1) 課題

教育上の施設・設備は整備されている。防災対策については、大規模災害への備えが十分とは言えない。

(2) 改善方策など

避難訓練を徹底し、町内会とも緊密な関係を維持していく。備蓄品の確保等についても、計画を立案する。

7. 学生の受け入れ募集

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
① 学生募集活動は、適正に行われているか	3
② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3

③ 学納金は妥当なものとなっているか	4
--------------------	---

(1) 課題

学生募集活動において、教育成果が目標通りには伝えられていない。

(2) 改善方策など

満足度や理解の偏り具合について具体的に把握できるよう、保護者や高校の進路担当教諭に対して調査・ヒアリングの方策を練る。

8. 財務

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
③ 財務について会計監査が適正に行われているか	4
④ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

(1) 課題

将来に向けて、安定的な財務基盤を維持する必要がある。

(2) 改善方策など

社会に貢献できる存在意義を自ら問い直し、顕在的ニーズに対応すると共に潜在的ニーズの掘り起こしを行う。

9. 法令等の遵守

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
④ 自己評価結果を公開しているか	4

(1) 課題

個人情報の保護について改善の余地がある。

(2) 改善方策など

法令や判例を理解する機会を設ける。また、他校等の先進事例を研究する。

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4	ほぼ適切…3
	やや不適切…2	不適切…1
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか		3
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか		3
③ 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか		3

(1) 課題

2年前から、社会貢献・地域貢献活動がやや低調である。

(2) 改善方策など

学校全体として取り組むことが困難な場合でも、個人や小グループで取り組める機会について学校が情報提供したり、機会そのものを提供できるようにする。

11. 国際交流

評価項目	適切…4	ほぼ適切…3
	やや不適切…2	不適切…1
① 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持っているか		3
② 留学生の受け入れ・派遣、在籍管理などにおいて適切な手続き等がとられているか		1
③ 留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか		2
④ 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか		2

(1) 課題

留学生受け入れの実績がない。

(2) 改善方策など

体制整備を含めて、留学生受け入れについての戦略を見直す。